ドリームちゅうおう

4

DREAM CHUOH
April 2026
No.339

とっとりCHU!
JA鳥取中央

今月号のCONTENTS

02 特集「倉吉西瓜 日本農業賞 大賞受賞」
04 女性会の活動紹介・いつでもそばに みんなのJA
05 青壮年部の活動紹介
06 営農トピックス
08 発見! 地域をつなぐ畜産物語
09 直売所探検隊「ハワイ夢マート」
10 JA information
11 食卓を彩る 旬のレシピ & 読者からの お便り紹介
12 数　独

日本農業賞 集団組織の部で“倉吉西瓜生産部会”が見事大賞受賞

祝

全国の優れた農業者や営農組織を表彰する「日本農業賞」。その第55回となる今年度、全国の組織の中から、倉吉西瓜生産部会が見事集団組織の部「大賞」に輝きました。長年にわたる産地の維持への取り組みが高く評価されました。今回は、そんな倉吉西瓜生産部会の取り組みをご紹介します。

日本農業賞とは？

「日本農業賞」は、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展や食・農の担い手として先進的な活動を行う個人や団体を表彰する賞です。1971年に創設され、NHKやJAグループの媒体を通じてその成果を広く発信し、農業や食への理解促進と地域活性化、日本農業の発展を目指しています。

表彰は大きく分けて2部門

●個別経営の部（個人農業者対象）
…………………………… 今回の応募件数 94件

●集団組織の部（農業団体・生産部会などが対象）
…………………………… 今回の応募件数 92件

この中から中央審査会（委員長＝盛田清秀元東北大学教授）が選考し、それぞれの部から大賞・特別賞・優秀賞が選出されました。

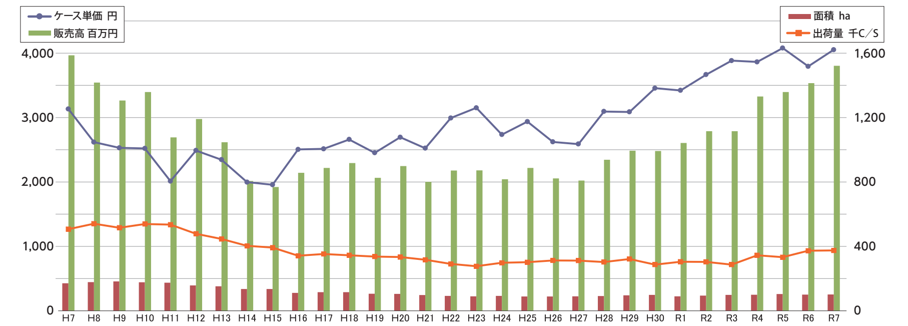
倉吉西瓜生産部会とは？

■生産戸数：117戸　■出 荷 量：37万5,000ケース
■生産面積：102ha　■販売金額：15億2,200万円
（R7年度）

倉吉市の久米ヶ原台地を中心とした火山灰土である黒ボク土壌からなる産地で、2月下旬からハウス栽培、3月上旬よりトンネル栽培を開始し、5月下旬から7月下旬にかけて出荷。
また7月上中旬に定植し9月上旬から下旬に出荷する、抑制作型も栽培しています。

どんな取組が評価された？「倉吉西瓜16億円達成プロジェクト」

H28年の鳥取県中部地震で産地全体が大きな被害を受けた際、産地復興としてスイカを盛り上げたいという声をきっかけに、過去最高販売額を記録したH7年の販売額16億を目指すプロジェクトを始動。「倉吉スイカ産地強化・加速プラン」を策定し、①新規就農者への手厚い支援と中核生産者の育成 ②裏作との両輪で目標に向かう ③農地譲渡の円滑なマッチング ④地域の魅力発信――の4つの柱を中心に行政・関係機関と連携しながら産地振興をはかってきました。その結果、R7年の目標としていた販売額12.1億円をR4年に早々にクリアし、R6年には14.1億円を達成。R7年には15.2億円を計上し、一度落ちていた生産量や販売額を見事V字回復させました。



産地振興プロジェクト部が行う新規就農者確保に向けた様々な取組

生産部内に新規就農者を担当する役員をR2年に初めて設置。現在は産地振興プロジェクト部として活動を行っています。

まず倉吉西瓜を知ってもらおうと、生産者募集チラシ作成や県内外の就農相談フェアに積極的に参加。

新規就農者の環境整備（トンネル支柱をベテラン農家と新規就農者間で融通）

新規生産者向け勉強会支援を年4回開催

新規生産者の面談実施

就農後の担い手育成として、熟練農家技術の見える化（指導員が作業する様子をYouTubeで部会員限定公開）

過去7年間で40人就農、定着率も100%

20～40代の若い生産者が参入し、生産部会全体が若返り、活気に満ちた状態に。ベテラン農家も新規就農者参入に刺激を受け、生産部会全体の一体感につながっています。

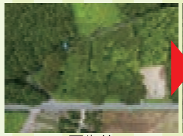
過去7年の実績　単位：人

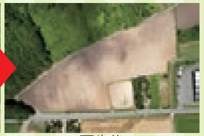
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
新規生産者数	9	8	8	4	5	5	1	40
うち親元就農者	0	0	1	1	2	2	0	6

新規就農者は生産部会に新規に入会した生産者数（夫婦の場合は2名で計算）

遊休農地の再生事業

長らく耕作放棄されてきた遊休農地を畑地化し、新規就農者に優先的に貸出。


再生前


再生後

過去5年間で3.7haの農地を再生

過去5年の耕作放棄地の再生（新規就農者に優先的貸出）　単位：ha

	R3	R4	R5	R6	R7	合計
再生面積	0	1.9	0.5	1.0	0.3	3.7
うち新規就農者の利用面積	0	0.8	0.5	0.8	0.3	2.4

倉吉西瓜生産部会 宮坂真生部会長インタビュー

Q1 受賞の知らせを聞いた時の率直な気持ちを教えてください

本当に驚きましたし、同時に大きな喜びも感じました。ここまで来られたのは、関係者の皆さまのご支援とご協力があってこそです。心から感謝申し上げます。

Q2 倉吉西瓜の産地をを守り続ける中で乗り越えた壁などありますか

生産戸数の維持には、正直なところ苦労しました。ただ、ありがたいことに販売状況が良く、売り上げに魅力を感じて新たに農業を志す若い方が入ってきてくれました。そのおかげで戸数を保つことができ、結果として販売金額の増加にもつながりました。本当に良かったと思っています。

Q3 今後の目標や、倉吉西瓜産地としての展望はありますか

今回の受賞をゴールにするのではなく、これまで積み重ねてきた良い取り組みは、これからも継続していきたいと考えています。また、時代や環境の変化に合わせて考え方も進化させ、若い世代の発想を大切にしながら、新しい挑戦にも積極的に取り組んでいきたいですね。具体的には、県内外での販売促進活動や産地体験会の開催を通じた新規就農者の確保、さらに栽培技術の共有による品質の維持・向上など、地域全体で支え合いながら、持続可能な産地づくりを進めていきたいと思っています。

青壮年部の活動

JA YOUTH

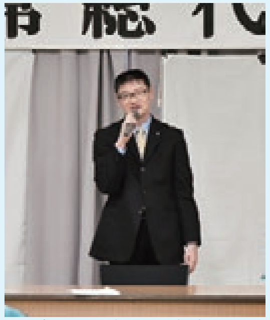
青壮年部のできごとをお伝えします

2/9 通常総代会 開催 役員改選で坂本さん（北条）が新委員長に

青壮年部は、JA本所で第28回通常総代会を開き、R7年度の活動報告やR8年度活動計画などを原案どおり承認。任期満了に伴う役員改選も行い、北条支部の坂本孝昭さんを委員長に選任しました。

7年度は農林水産省との意見交換や千葉県で行われた農業展示会の視察を実施。また鳥取県で開催された中国四国地区JA青年大会では組織活動実績発表で大田忠敏さんが最優秀賞、琴浦支部がPR動画で最優秀賞を獲得するなど好成績を収めました。8年度は、2年前に行った芋焼酎製造の2回目を行い、より多くの人に活動の魅力を発信していきます。

今期、委員長を務めた語堂正範さんは「農業の課題を青壮年部が向き合って発信していくのが大事。焼酎製造など新しい取り組みはぜひ継続していってほしい」と期待を託し、坂本新委員長は「皆さんのアイデアやご協力をいただき、頑張っていきたい」と意気込みました。

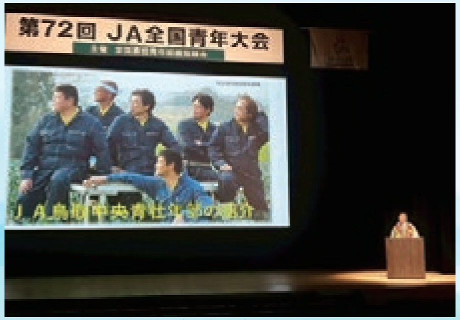

委員長に選任された坂本さん

全議案を承認

2/18 第72回JA全国青年大会 中国四国地区代表として大田さんが出場

東京都練馬区で開催されたJA全国青年大会に参加し、中国四国地区代表として、大田忠敏さんが「笑chu! やらいや」と題し、足掛け2年に渡る芋焼酎作りを紹介しました。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、審査講評では「これからも“やらいや”精神で多角的な活動を展開してほしい」とエールを頂きました。

無事に発表を終えた大田さんは「多くの盟友、JA理事の方も大会へ応援参加いただき、自信をもって笑顔で発表することが出来ました。ありがとうございました！」と感謝を述べました。



発表を行う大田さん

JA長生青壮年部白子支部の盟友と一緒に記念撮影

女性会の活動

女性会のできごとをお伝えします

2/25・26 第67回 全国家の光大会 県代表として村岡さん（三朝支部）が出場

第67回全国家の光大会が6年ぶりに福岡県で開催され、全国47都道府県から約1,500名が参加しました。

大会の前日には都道府県代表体験発表のブロック予選があり、鳥取県代表として三朝支部の村岡幸枝さんが発表。「おひさま市でほっこりと」と題して、自ら作った「家の光お気に入りファイル」を参考に女性会活動を行ったり、三朝町にある「三朝おひさま市」で農業振興と地域の活性化に力を入れていることを生き生きと発表しました。

残念ながら本選への出場とはなりませんでしたが、当日は女性会員が応援団として駆けつけ声援を送りました。

福岡県で開催

堂々と発表する村岡さん

村岡さん応援団

いつでもそばに

みんなのJA

1/19 警察から感謝状 赤碕支所職員 震災便乗の詐欺から組合員を守る

1月8日、赤碕支所を訪れた女性から「突然自宅に来た業者に、地震の影響で浮いた柱の修理費として350万円が必要だと言われた。建物更生共済でいくら払われるのか」と相談された共済課の櫨本颯馬さんは高額だったことや県外の業者だったことから不審に思い、上司へ報告。助言を受けて、琴浦大山警察署へ通報しました。同署は詐欺商法の疑いがあるとし、被害は未然に防げました。その後、櫨本さんは琴浦大山警察署の中嶋署長から感謝状を受け取り、「組合員の皆さんに安心を届けることが使命だと思っている。とてもうれしい」と話しました。

2/14・15 2026新春ドリームフェア 農機・ガス・自動車の大展示会

JA全農とっとり・JA中央サービスは、北栄町の大栄西瓜統合選果場で、「2026新春ドリームフェア」を開きました。トラクターなどの農機のほかに、ガス器具や自動車が一挙に集まる年に1度の大きな展示会で、多くの来場者でにぎわいました。

農機メーカーだけで約20社が集結。重労働な農作業を軽労化し、作業が快適になるような提案をしようと、最新のスマート農機などが所狭しと並んだ。自動車では主にスズキや三菱などの車両をメインに展示し、特別価格での販売も実施しました。

営農トピックス

県中部の農業にまつわるトピックスをまとめてご紹介します。

2月3日

大栄西瓜組合協議会 総会
26年度は高単価を目指して 会長に前田修志さんを選任

大栄西瓜組合協議会は、北栄町で第54回通常総会を開き、R7年度の事業報告や8年度の事業計画などを承認しました。役員改選では、前田修志さんを会長に村岡東樹さんが副会長に選任されました。7年度の販売実績は、出荷量55万5，827箱、販売金額は22億7，415万円と好調に推移しました。8年度は「産地の維持はみんなの意識」をスローガンに掲げ、栽培面積145ha、51万5，000箱の出荷を目指すことを申し合わせました。前田会長は「30年、50年先を見据え、リスクを一つずつ解消していき足腰の強い産地づくりに取り組む」と意気込みました。

議案の承認に手を挙げる生産者

2月10日

営農指導実践発表
中央営農C前田智さん、北栄営農C前田恭さんを代表に

倉吉西瓜の直近5年間の取組を発表する前田智貴さん

倉吉市の本所で「営農指導事業実践発表会」を開きました。営農指導員が組合員の所得向上や産地振興の成果を発表しました。前田智貴さんは倉吉西瓜の新規就農者確保やハウス栽培拡大、最新鋭選果機の導入による収益性向上の取り組みを発表。前田恭兵さんは、大栄西瓜の新規就農サポート部の新設や「親方研修制度」など、担い手確保に向けた手厚い支援体制を紹介しました。審査した戸田勲常務は、県大会に向け内容や表現力の改善点を伝え激励。代表に選ばれた2人は、3月の県大会に出場しました。

2月10日

鳥取県ブロッコリー生産振興大会
ブロッコリー 面積拡大目指して

JA全農とっとりは、ブロッコリーの魅力を再発見し、生産者の生産意欲をさらに高めようと、大山町で「鳥取県ブロッコリー生産振興大会」を開きました。セブンイレブンの商品開発担当者やJA全農職員による講演が行われ、市場のニーズなどについて語られました。また、栽培面積拡大の成功事例として、JA管内から倉吉市の㈱GOTO・FARMの後藤慎司さんが登壇。「ブロッコリーは時間効率が良く、機械設備も少なくて済むのが魅力」と話し、現在の栽培面積17haを将来的に60haまで拡大したいという強い目標を発表しました。

琴浦ブロッコリー、大山ブロッコリーの生産者、JA担当者が出席

2月10日

小中学校の給食に「ねばりっこ」
生産者と一緒にいただきます！

北栄町内の小・中学校で、地元の特産品「ねばりっこ」を使った特別な給食が提供されました。メニューはジャーマンポテトで、使用されたのは、大栄小学校3年生が昨年11月に収穫体験で掘り取った100kg。ねばりっこは前月の給食でもグラタンとして登場しました。ジャーマンポテトを味わった児童は「粘りが強くて、こくもあり美味しかった」と笑顔で話しました。

この日は、長芋生産部の生産者2人も学校に招かれ、児童と一緒に給食を楽しみ、横山斉芳販売部長は「子どもたちと一緒に味わうことができ非常に有意義だった」と話しました。

2月17日

泊西瓜部会
「とまり美人」スイカ 定植スタート

主要特産物、スイカの定植が始まりました。

管内で一番早く作業に取り掛かる泊西瓜部会は、湯梨浜町泊地区でブランドスイカ「とまり美人」の定植作業を15日から開始。定植気温の低い2月からの栽培となるため、ハウス内に二重のトンネルを設置して保温を徹底しています。

就農4年目を迎えた同部会の杉本直耶さんは今季定植2回目となる17日、9.4aの圃場に432本の苗を植え付けました。「昨年以上に美味しいスイカを届けられるよう、栽培に励みたい」と意気込んでいました。

収穫は5月下旬から6月中旬を予定しています。

丁寧に植え付けをする杉本さん

2月22日

東郷果実部 総会
梨販売額10・5億円で 昨年実績超

湯梨浜町うまい梨づくり共進会表彰を受けた10名

東郷果実部は湯梨浜町で、総会を開き、R7年度の販売実績が10億5772万円で、前年実績を上回ったと報告しました。

7年度は「二十世紀」が小玉傾向で出荷量減となりましたが、貿易需要は堅調で平均単価は過去最高を記録。「新甘泉」も、シーズンを通して引き合いが強く高単価となりました。岡崎和彦副部長は「8年度は、軽く10億円を突破できるような販売に取り組みたい」と話しました。また、湯梨浜町うまい梨づくり共進会表彰では、優秀賞に3年連続で唐崎大義さんが選ばれました。

日本農業新聞掲載（2月2日付） 生産者インタビュー
大栄花き部会 塚本茂雄部長

光と温度を操り「理想の一輪」を 電照技術で西日本一の花産地へ

家業の花き栽培を継承し、北栄町でハウス栽培をする大栄花卉部会部会長の塚本茂雄さんはアスター約20a、ストック55aという広大な圃場を管理しています。市場や消費者が求めるタイミングに合わせ、多種多様な色・品種を安定供給することに何よりの喜びを感じています。

そのこだわりは、徹底した「逆算の栽培」にあります。秋のアスター出荷を実現させるためには、ハウス内が40度に達する酷暑の夏に種をまかなければなりません。発芽適温が20度前後のアスターにとって、この時期の播種は極めて困難ですが、他産地が避けるこの時期にこそ挑戦し、病害虫を防ぎ、電照のタイミングを緻密に操ることで「品質と本数の安定」という市場からの厚い信頼を勝ち取っています。

また、冬に主力となるストックは、日中の温度管理や夜間の保温に細心の注意を払います。花芽分化の時期を的確にコントロールし、花の詰まりが良く、一輪が大きく、葉の張りが鋭い「理想の姿」を追求します。

こうした妥協なき姿勢は、輝かしい実績となって結実しました。R5年、そして7年の「花のまつり」で、最高賞である農林水産大臣賞を受賞。

現在は長引く猛暑の影響で花芽分化が遅れるなどの苦境にありますが、これを一層の技術向上の機会と捉えています。最新の発光ダイオードを用いた電照技術を磨き、気候変動にも柔軟に対応できる体制を構築。「電照による開花調節技術を極め、西日本一の花産地として出荷量を増やしていきたい」と意気込んでいました。

ストックを手に持ち品質を検査する塚本部会長

星空舞、輝く特A評価

鳥取県米「星空舞」と「きぬむすめ」が、R7年度産米食味ランキングで最高評価「特A」を獲得。

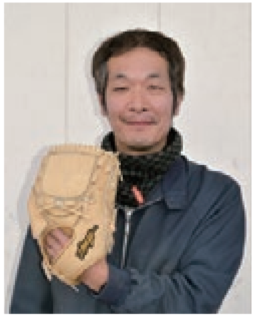
「星空舞」は2度目の特A評価、「きぬむすめ」は6年連続の特A評価となります。

番外編

発見！地域をつなぐ畜産物語

味だけでなく捕球もよし
鳥取和牛の皮革で野球グラブ
元プロ野球選手も太鼓判

つなぐ株式会社
松尾（まつお） 洋平（ようへい）さん
（倉吉市）



食べておいしく、使ってよし——。

鳥取県のブランド牛の新たな価値を形にしたのが、「鳥取和牛」の皮革100％を使用した硬式野球グラブです。昨年11月の販売開始から既に10個が売れ、元プロ野球選手も太鼓判を押すなど、食材としてだけでなく素材としてのブランド価値を押し上げる取組として注目されています。グラブのほかにも、財布や名刺入れ、キーホルダー、キーケースなどの革小物も展開しており、和牛の魅力を〝使って楽しむ〟新たなスタイルが広がりを見せています。

「鳥取和牛」の皮革は、きめ細やかでツヤがあり、手触りが良いのが特徴です。オイルを塗らなくても革の油分でしっとりとし、元プロ野球選手の川口和久さんは「使えば使うほど手になじむ。プロでも使える」と話し、質の高さを評価しています。

このグラブを手がけたのは、鳥取県倉吉市にある「つなぐ」の取締役・松尾洋平さんで、県中部の特産品などを販売する通販サイト「倉吉市場」を運営しています。松尾さんは甲子園に出場した経験があり、島根県のブランド牛「しまね和牛」から作られるグラブの存在を知ったことをきっかけに、「鳥取和牛」でもできるのではと考え、

着想からわずか1年半で商品化しました。

使用している皮革は、鳥取県食肉センターから仕入れたもので、ブランド名は、鳥取から羽ばたいてほしいという願いを込めて「T-WINGS」と名付けられました。投手用や捕手用など全5種類を用意し、それぞれ和牛ブラック、砂丘キャメル、松葉オレンジの3色で展開しています。

財布や名刺入れ、キーホルダー、キーケースなどの革小物は「ハクトレザー」というブランドで販売しており、和牛の魅力を〝使って楽しむ〟新たなスタイルが広がりを見せています。

「倉吉市場」やJU米子高島屋などで販売中。

松尾さんは「食べておいしいだけではなく、革にも存在価値があることをもっと多くの人に知ってもらいたい。畜産農家の皆さんには、感謝しかありません。革製品を通じて、鳥取和牛のブランド力をさらに高めていけたらうれしいです」と話しました。

ハワイ夢マート

東伯郡湯梨浜町久留26-1　TEL/35-3535 FAX/35-3888
営業時間/9:00～17:30

ヘタの『ひび割れ』は完熟のサイン
～1棟のハウスで3種類を食べ比べる、秘密のイチゴ狩り～

湯梨浜町　杉本（すぎもと）　悟（さとる）さん

美味しいイチゴですのでぜひ食べてください！

イチゴ栽培を始めて今年で2年目です。イチゴの他にはブドウとワインを生産し販売しています。イチゴ栽培のきっかけは離農される方から農園を引き継いだことがイチゴ作りの始まりです。

真っ赤に色づいたイチゴを見ると、日々の疲れがふっと癒やされます。1棟のハウスで「紅ほっぺ」「とっておき」「堅しろう」の3品種を育てています。

本来、品種ごとに水や肥料の管理を分けるのが理想ですが、将来イチゴハウスを増やして多品種を栽培するために、品種の特徴を知るためにも現状は1棟で3種類を育てています。

「紅ほっぺ」は、甘味と酸味のバランスが抜群。熟すほどにコクが増す、王道の味。

「とっておき」は、丸っこい形が可愛らしく、華やかな香り。「堅しろう」は、しっかりとした歯ごたえと深いコクがあり、満足度が高いのが特徴です。

イチゴ作りは、収穫以上に「苗作り」が勝負です。春に親株を植え、ランナー（蔓）をポットで受けて苗を育てます。

近年の猛暑は苗にとって過酷で、病気にならないよう、肥料のバランスや温度管理、水管理に細心の注意を払っています。イチゴの栽培管理は「やりすぎても、足りなくてもダメ」。この繊細なバランス維持がイチゴの美味しさを決めているんだと思います。

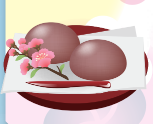
3月から5月後半にかけて、当園では大々的には公表していませんがイチゴ狩りもしていて「食べ比べ」を楽しめるようにしています。ハウスが1棟しかないため、大人数は受け入れられません。「大人数のお子様連れのご家族が来るときは収穫を止め、ハウス中を真っ赤なイチゴでいっぱいにしておくんです」。そんな心遣いも、お客さんの「美味しい！」という笑顔が見たいからこそです。

美味しいイチゴの選び方は、ヘタがグッと反り上がっていて、その付近の皮に少し『ひび割れ』が入っているものです。それは完熟のサインで、めちゃくちゃ甘いんですよ。

直売所に売ってる真っ赤なイチゴは完熟したイチゴを収穫してすぐに売り場に並べられる事が多いです。完熟したイチゴは香りも強く美味しいイチゴが多いと思います。直売所で真っ赤なイチゴを見かけたらぜひお買い求めください。

蜂を使い交配をしています

収獲は手作業で行っています



先祖への感謝の気持ちを持ちましょう
ぜひ、直売所でお彼岸のご準備を

食卓を彩る
旬のレシピ

スパイスの香りが食欲そそる
春キャベツと新ジャガイモのごまサブジ（インド風蒸し炒め）

材料（4人分）

キャベツ……………300g
新ジャガイモ…………300g
オリーブ油………大さじ1
ニンニク（みじん切り）1片（5g）
カレー粉…………小さじ1
チリパウダー…………適量
塩……………小さじ1/2
水………………大さじ1
白ゴマ…………大さじ1

作り方

❶キャベツはざく切りにする。新ジャガイモは皮をむき1cm角に切り、水にさらして水気を切っておく。
❷フライパンにオリーブ油とニンニクを入れて中火にかけ、香りが出たらキャベツと新ジャガイモ、カレー粉、チリパウダー、塩、水を入れて混ぜ、ふたをして5分ほど加熱する。新ジャガイモに火が通ったら白ゴマを混ぜ入れて出来上がり。

ポイント
難しいコツなく作れるインドの家庭料理です。インドではクミンシードを使いますが、白ゴマで代用して和風にアレンジしています。

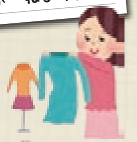
アレンジ
●キャベツや新ジャガイモを冷蔵庫に残った野菜に替える
●春巻きの皮で巻いて揚げる

読者からのお便り紹介

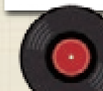
今月もたくさんのお便りありがとうございました。

今月のお題
捨てようと思って、どうしても捨てられなかった物を教えて下さい。

若いころに無理して買った高い服。デザイン的にもサイズ的にも（笑）もう着ることはないのですが…ね。（牛さん）



今では聞かなくなったレコード。若い頃の思い出いーっぱいで、どうしても捨てられませーん！（となちゃんさん）

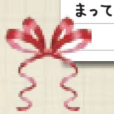


古い手紙全部。小学生の頃から年賀状からとってあります。（かさちゃんさん）

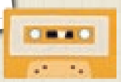
現在53歳になる息子が中学生の時に図工授業で作った顔の像。（平井さん）

祖父の代から使っている半纏。普段フリースを着ていますが、情が移っていて捨てられないです。（サラダさん）

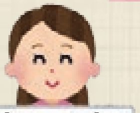
プレゼントについてくるリボン。綺麗だし、これから先何かに使うかも…と思うと捨てるに捨てられなく、沢山溜まってしまいます。（デラウェアさん）



80年代の頃に聞いていたカセットテープ。（吉村さん）



上手に書けた習字。普段、恥ずかしいぐらい字が下手なので、奇跡の1枚です。（さっちさん）



【次号のお題】
「新生活で、ドキドキしたことや恥をかいた話」
たくさんのお便りをお待ちしております。

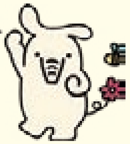
令和9年度
JA鳥取中央新規採用職員募集要領

募 集 要 領

1．募集人員　15名程度
（高校・短大・大学卒業見込者及び既卒者）
2．職　　種　総合職（システム管理担当者、営農指導員、信用・共済・購買・販売等の事務員・販売員など）
3．勤務時間　午前8時30分から午後5時15分
※一部職種は変形労働時間制を採用
4．休　　日　土曜日、日曜日、祝祭日、年末年始等
※一部職種は変形労働時間制を採用
5．賃　　金　⑴基本給　短期大学 183,440円
大 学 卒 192,420円
大学院卒 196,420円
⑵賞　与　年2回
⑶昇　給　年1回
⑷交通費　最高50,000円まで
6．福利厚生　健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険に加入、退職金制度、互助会、共済会、制服貸与
7．応募資格　2027年（令和8年）卒業見込者、若しくは既卒者又はそれと同等と思われる学力を有する者で1996年（平成8年）4月2日以降に生まれた者（30歳まで）
10．書類提出先　鳥取県倉吉市越殿町1409（〒682-0867）
JA鳥取中央 総務部教育人事課（℡0858-23-3007）

オープンカンパニーやオンライン説明会に参加された学生向けのエントリー方法
1）オンライン説明会（又はオープンカンパニー）
2）エントリーシート提出
3）WEB適性検査
4）役員面接　　HPからWEBでエントリーも可能です

年金のお受け取り口座はぜひJA鳥取中央へ！



JAでは年金受取をされていらっしゃる方に様々な優遇をしております。
JAで年金受取されているご近所の方やお友達とご一緒に楽しく活動しましょう。
これから年金受取をされる方の請求手続きも、既にお受け取りの方の変更手続きも、JAにお任せ下さい！！

年金友の会のおもな活動内容・特典
●グラウンドゴルフ大会・ゴルフ大会・ウォーキング大会・集団保養・親睦会（総会）・日帰り旅行 等
●お誕生月に誕生日ケーキプレゼント
●年金受取口座の金利優遇
●定期貯金・定期積金の金利優遇

さらに、JAで年金受取されると毎月**最低3回**は**コンビニ・ゆうちょATM**で入出金されても**手数料が無料**となります。

詳細は、最寄りの支所 金融課窓口にお問い合わせください。

ガス衣類乾燥機
乾太くん
ガスの力でスピード乾燥
ふんわり仕上がる
生乾き臭をカット
オール電化のご家庭にも設置できます

お問い合わせ、ご用命は
(株)JA中央サービス LPガス課 TEL.0858-47-0220

鳥取県農作業安全・農機具盗難防止協議会からのお知らせ
R8年春の農作業安全運動展開中！
≪3月1日～5月31日≫
安全対策でよい農業経営と生活を続けましょう。

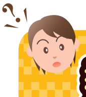
JA鳥取中央 **葬祭センター**
TEL（0858）47-0983
FAX（0858）47-0981
0120-80-9831 通話料無料 24時間受付

JAメモリアルホール
報恩舎
〒682-0017
倉吉市清谷町2丁目143
TEL（0858）47-4300
FAX（0858）47-4320

JAメモリアルホール
福 本
〒682-0604
倉吉市福本220-1
TEL（0858）48-2100
FAX（0858）48-2101

JAメモリアルホール
あじさい
〒689-2303
琴浦町徳万282-13
TEL（0858）53-1184
FAX（0858）52-3943

ドリームちゅうおう
4月号　No.339
発行日／令和8年3月12日
発　行／鳥取中央農業協同組合
〒682-0867 鳥取県倉吉市越殿町1409 TEL 0858-23-3000 FAX 0858-23-3070
JA鳥取中央ホームページ
https://www.ja-tottorichuou.or.jp
企画・編集／JA鳥取中央 総務部 広報課
印刷／山本印刷株式会社



数独

今月のプレゼントは「直売所お勧めセレクション」を5名様に

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

ルール

(1)空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
(2)タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

【考え方】タテ列やヨコ列、3×3マスの各ブロックで、同じ数字が重複しないように数字を入れていくパズルです。計算は不要ですよ。例題で解き方を覚えましょう。右下のブロックには、まだ2が入っていないので、4つある空きマスのどれかが2になるはず。同じタテ列やヨコ列に2がない空きマスは、6のすぐ右のマスしかないので、2の入る場所はここだと決められます。このように、確実に数字が決められる場所を、注意深く根気強く探していきましょう。

例題

	7	2	9		5	8		6
	1			3			4	
4	9				1	3		
		7	8		9	2		5
	2			5			7	
6		3	7		4	1		
		1	4				5	3
	3			1			6	
5		4	3		2	9	8	

例題の答え

3	7	2	9	4	5	8	1	6
8	1	6	2	3	7	5	4	9
4	9	5	6	8	1	3	2	7
1	4	7	8	6	9	2	3	5
9	2	8	1	5	3	6	7	4
6	5	3	7	2	4	1	9	8
2	8	1	4	9	6	7	5	3
7	3	9	5	1	8	4	6	2
5	6	4	3	7	2	9	8	1

	8		9		□			
9						6	3	
				1			2	
4					3			
		1		5		4		
□			2					8
	2			3				
	4	8						5
					1		9	

応募要項

はがきやメール、FAXで①よかった記事と理由②今月号のクイズの答え③郵便番号④住所⑤氏名⑥電話番号⑦次号のお便りのお題「新生活で、ドキドキしたことや恥をかいた話」の回答を書いてお送りください。数独正解者の中から抽選で5名の方にプレゼントいたします。
【宛先】　〒682-0867 倉吉市越殿町1409 JA鳥取中央 広報課宛
メール／kouhou@ja-tottorichuou.or.jp　FAX／0858-23-3070
応募締め切り／4月3日(金)
※当選は商品の発送をもってかえさせていただきます。
※個人情報については、プレゼントの発送、及び「ドリームちゅうおう」の紙面作り以外には使用しません。

3月号の答え
16

ここからも応募できます

中四国版紙面には、JA鳥取中央の記事が随時掲載されています!ぜひご覧ください!!

お近くの新聞販売店から毎日お届けします。

購読料　月極
紙　版3,100円(税込)
電子版2,403円(税込)

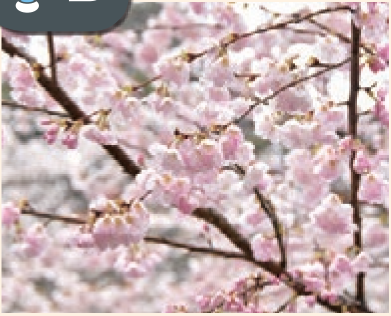
──購読のお申し込みは、各支所 組合員課までお問い合わせください。──

購読料　年額
9,900円(税込)

誌代1年分を年間予約として購読料をお支払いいただくと普通月号1か月分が無償となっております

※原則として、年間予約購読〔前納〕の中途解約はできません。
※1冊からでもご購読できます。

編集後記



3月ですね。春ですね。梅の花や桜の花が咲き始めているというニュースを見るようになり、表紙も桜にしてみました。今月号の特集は、嬉しいニュース「倉吉西瓜生産部会が日本農業賞集団組織の部で大賞受賞」を特集しました。鳥取県内で日本農業賞の大賞を受賞するのは、昭和50年のJAとうはく以来となります。おめでとうございます。他にも2月は、女性会と青壮年部は、発表の地区代表としてそれぞれ全国大会へ出場されるなど、嬉しいニュースが多かったです。畑でも、春の農作業が始まり新たな1年のスタートを迎えています。これからも明るい話題をお届けしていきます!

広報課